

今月の手作りおやつ



にんじん蒸しパン

4月のゆうゆうカフェは平成最後の3日前 28日にOPENしました。いつもより寒い朝を迎えましたが、カフェの時間には霞み晴れの中開催されました。外は少し風が吹いていましたが、カフェの中は春の日差しが差し込み暖かく感じました。

今回は連休中ということもあり、ご利用はありませんでした。

5月1日からは「平成」代わって新しい元号「令和」が始まりました。「平成」を振り返って、みなさんはどんな時代でしたか？どんな思い出がありますか？大きく科学技術が進歩し、インターネットを通じて世界が瞬時につながった時代でもありました。一方で心の豊かさはどうだったでしょうか？高齢化が急激に進み、介護保険ができましたが、果たして誰もが安心して暮らせる時代になったのでしょうか？まだまだ課題は多そうです。



認知症の周辺症状への対応ワンポイント「帰宅願望」(月刊デイ2019年4月号より抜粋)

家にいるのに実家に帰ると言ったり、デイサービスや施設の入所中に、家に帰ると言って落ち着かなくなることがよくあります。これは、「帰宅願望」と言って、数分前の事を忘れてしまう「短期記憶障害」と季節や日時、場所などがわからなくなる「見当識障害」の2つの中核症状によって起こってきます。今いる場所がわからなくなり知らない場所で不安になり帰りたいという事につながっていきます。

対応方法として①「不安」になる前に声かけや環境を工夫してはたらきかけることが大切です。認知症の方は毎日が初めてのできごとですので、否定することなく、同意して受け入れてあげることによって不安をやわらげることができます。②見当識障害に対しては、実際に季節を肌で感じてもらったり、時間によるあいさつを強調したり、ご本人にわかるキーパーソン(顔なじみの家族やスタッフ)名前を出したり、具体的な地名や場所、予定などをお伝えして不安を和らげるとよいでしょう。

ご本人が不安になる事を見計らって、声かけを繰り返ししていくことが大切です。繰り返し声掛けをすることになりますが、ご本人はすぐに忘れてしまうので、周りをご本人に合わせ、不安になる材料が何かを探っていくことも重要です。

ご本人の不安をできるだけ解消して、楽しい時間を過ごせるようにし、その結果として帰宅願望が減っていくことにつながっていきます。



ゆうゆうカフェ4月のスタッフです。今月もありがとうございました。暑い時期になってきますので、水分補給をこまめにお願ひします。皆様のお越しをお待ちしています！

〈ゆうゆうカフェ今後の予定〉

毎月第4日曜日開催

【次回開催日】

5月26日(日) 午後1時～午後3時

6月23日(日) 午後1時～午後3時

【ゆうゆうカフェ問い合わせ先】

介護老人保健施設ゆうゆう

認知症カフェ事務局(担当:今村、伊藤)

電話 0265-53-6048